### 羅臼町教育情報紙





No.14

発行: 平成 25 年9月 10 日 羅臼町教育委員会 羅臼町栄町 (87-2129)

人と人・学びと学びを つなぎ、結ぶ

# 意念報』。平成25年度 全国学力・学習状況調査の結果につけて

今年も小学6年生と中学3年生を対象に実施されている全国学力・学習状況調査が4月に実施され、このほどその結果が公表されました。

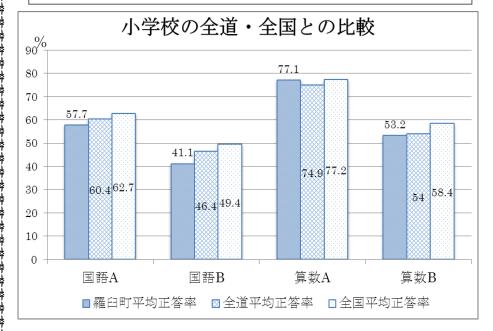
道教委では、「全道の状況としては、小中学校いずれの教科も、全国の平均正答率を下回っており、厳しく受け止めている。」とコメントする一方、平成24年度調査との比較では、小学校の全ての教科と中学校の国語A問題、数学A問題で差が縮まっており、「各市町村教育委員会や各学校の学力向上に向けた取り組みが一定の成果として表れてきたもの。」と分析しています。

今般、羅臼町の結果も届きましたので、全道・全国との比較としてグラフでお示し、あらためて羅臼町の課題について確認したいと思います。

#### ~まずは、学力テストの結果から・・・・・・・

#### 【全国学力テストの内容】

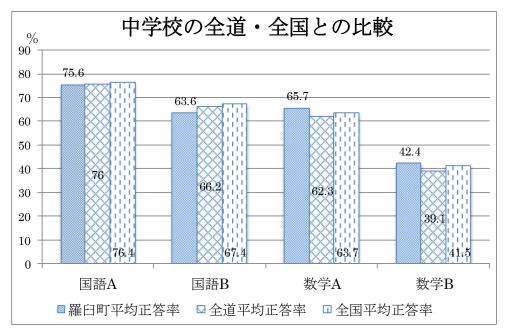
国語A問題/算数(数学) A問題 …「知識」に関する問題 国語B問題/算数(数学) B問題 …「応用」に関する問題



小学校については、算数Aで全道の平均正答率を越え、全国とほぼ肩を並べる結果となっています。他の科目では全道・全国の平均

正答率より低位にありますが、(このグラフからは読み取れないのですが) 昨年度との比較で見ると、全道・全国との差が縮まってきている傾向も見られ、少しずつ学力の底上げがされてきているようです。

中学校についても、数学A・Bで全道・全国の平均正答率を越える結果となっておりますし、国語においてもA・B共に全道・全国に迫る正答率を示す結果となっています。

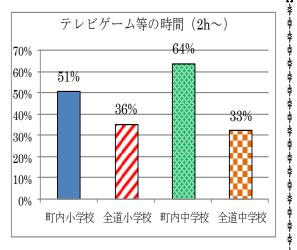


今年、羅臼町教頭会では、昨年度の調査結果を分析し、これを基に本町の学力改善上の課題解決に向けた提言「羅臼町学力向上に関わる提言」をまとめられており、町教委としても、今後はこの提言の実践を督励・支援し、教育課程の習熟度の向上を図っていきたいと考えています。

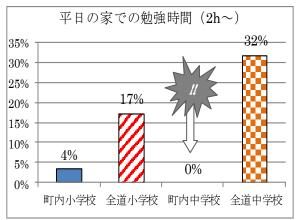
#### 次に、学習状況調査の結果です・・・・・・・・・・・・

こちらの調査結果については、昨年度の傾向とほぼ同様の傾向が 示されています。

全道の平均と比較して差が大きい項目として、「テレビゲーム等 (コンピュータ・携帯電話含む)の時間」と「平日の家での勉強時 間」についての結果が気になります。 テレビゲーム等(コンピュータ・携帯電話含む)に費やす時間が2時間以上という回答が、小学校では昨年度42.6%から今年度51%に、中学校でも57.6%から64%に増加しており、全道的な傾向ともリンクしていますが増えています。



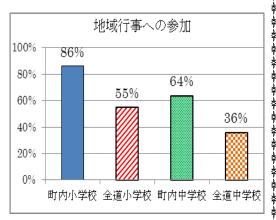
# 少ない家庭学習の時間!

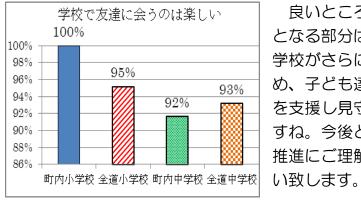


また、家庭での勉強時間については、全道と比較して著しく低い結果となっており、羅臼町の地域課題として強く認識する必要があると思われます。家庭での計画的な時間の使い方や学習関を身につけていけるよう、保護者や家族

#### の働きかけが重要になってくると思われます。

なお、「地域行事への参加」 や「朝食を毎日食べる」「人の 役に立つ人間になりたいと思 う」「学校で友達に会うのは楽 しいと思う」という項目は、 昨年同様、全道の結果よりも 群を抜いて上位であり、羅臼 町の良い地域特性を示す結果 となっています。





良いところは伸ばし、課題となる部分は、地域・家庭・学校がさらに連携・協力を強め、子ども達の健やかな成長を支援し見守っていきたいですね。今後とも、教育行政の推進にご理解とご協力をお願い致します。

後援:北海道・北海道教育委員会・北海道栄養士会・北海道消費者協会

札幌市·札幌市教育委員会 他

町教委と羅臼高等学校では学校設定科目「フードデザイン」を選 択する3年生(23名)を対象に、地域の食文化学習を通じ、知床 羅臼の素材を活かした創作レシピ開発の授業に取り組んでいます。

今事業の大きなねらいは、今年初開催となる『第1回高校生チャ レンジグルメコンテスト』に出場することを目標とした授業を通じ、 知床羅臼の風土や食・自然の素晴らしさについて再発見すること、 地域への誇りや愛着心を育てることにあります。



↑まずは机上でアイディアを練り上げる。

地産地消を理解し、羅臼の素 材を利用したメニュー開発及び 提供を通じて、地域の活性化に 貢献することも重要視しており、 地元の子ども達が故郷である羅 臼のことを思い、羅臼町の発展 のために一考する時間を大切に これまで取り組んできました。

現在はフードデザイン選択生の中から更に 6名のメンバーを選抜し、日々レシピの修 正・調理訓練・店舗装飾等の努力を重ねてい ます。

6月初旬より取り組みを開始致し羅臼漁業 協同組合様、のりとも朝倉商店㈱様、羅臼町 飲食店組合様等、町内のたくさんの企業・団 体のご支援・ご協力により、この度最終審査 を通過し見事全道10校に選ばれました。



現在、10月6日(日)札幌市で開催される本選に向けて、生徒 たちは着々と準備を進めております。町一丸となって羅臼高校生の 取り組みを応援したいですね!!

あなたの札幌市内・近郊にお住いのご親戚やお知り合いの方にむの情報を ご提供いただき、コンテスト会場に足を運んで応援いただけると心強いです。

### 《コンテスト日程》

10月6日(日) 1 開催日

札幌駅南ロイベント広場

10:00 ~ 16:00

審査方法 ①来場者の投票

このもでは「大きない」では特別賞を表彰する。
このもなっては特別賞を表彰する。 ②有識者による店舗装飾、企画力・接客態

築(3A)、 知昭町 川上寧々(3B) 八木浜町 富山真名(3A)、春日町 髙野剛光(3B) 町 浜松 亜美(3B)、 海岸町 山倉美咲(3B)

## 出品料理



#### ≪らうす大漁焼の PR ポイント≫

- ① 新感覚ピザ。生地に鮭節の出汁と炒った鮭節をたっぷりと混ぜ 込むことにより、鮭節の風味がしっかりと鼻に抜けてゆきます。
- ② 鮭・イカをふんだんに使用し、かつ大漁を祈願するネーミング から羅臼の最盛期を表現しています。
- ③ 形にもこだわりました。魚をモチーフにした羅臼のシンボルマ ークを型取ることにより、羅臼町を一層 PR しています。
- ④ 味はトマトソースとホワイトソース2種類を用意。特に鮭節は ホワイトソース(乳製品)に良く合うと評判です。

#### ~高校生チャレンジグルメコンテストとは?~

高校生を対象とした言わば全道グルメ甲子園。次世代を担う 高校生が、地域の食と文化・生産者の思いや食材について学び、 地域の食材に新たな発想を加えた創作料理を考案するコンテ ストです。

地域食材の新たな活用方法や情報発信への貢献、地域から愛 され自慢の一品となるご当地グルメを誕生させ、若者による地 域活性化に繋げていくことも目的に実施される大会です。



事処いさり火さんへ試食訪問 (鮮節を活用した創作料理)



↑「らうす大漁焼」の試作品

## 食べに来てねっ~!!

# 第42回漁火祭り出店決定

本選出場に先駆け、第42回漁火祭り会場での模擬出店が 下記のとおり決定いたしました。本選の審査基準の中には、 接客態度や店舗装飾等も盛り込まれており、生徒一同、本選 出場に向け、町民の皆様の胸を借りるつもりで出店します! 当日は、アンケート等を用いてお客様からのご感想も頂く 予定です。

皆様方のご支援・ご協力が生徒たちにとって何よりの励み になりますので、この機会に是非ご賞味頂ければ幸いです。

1月日: 平成25年9月22日(日)※1日間のみ

2 会 場:羅臼漁港(共栄町 全天候型2階建漁港)

3 時 間:9:00~14:30 4 価格:2個400円(予定)

「若者が頑張っている町は活気のある街」と言われます。羅臼の将来を担う高校 生が、町への想いを胸に頑張っている姿は、とても頼もしく、そして微笑ましく目に映 ります。ぜひ、本選で頑張ってください。応援しています。